三吉

みよし

発行所
太平山頂上鎮座
太平山三吉神社総本宮
宮司　田村泰教
秋田市広面字赤沼３の２
電　話　(018) 834−3443
ＦＡＸ　(018) 834−3444
http://www.miyoshi.or.jp

三吉梵天祭（１月17日）

宮司　田村泰教

天皇陛下のご譲位に関する日程が固まった。平成の御代は再来年（平成三十一年）四月三十日までとなり、翌五月一日に皇太子殿下がご即位あそばされる。▽昭和天皇が崩御なされた折、マスコミの回顧報道で「激動の昭和」という表現が良く用いられた。大戦があり、敗戦・占領下を経て、奇跡の復興、高度経済成長、バブル景気…。まさに、ジェットコースターのような時代の大きなうねりが、怒涛の如く国全体を、そして人々を飲み込んでいった。▽この平成はどう振り返られるのだろう。阪神淡路・東日本と二つの大きな震災が起きた。その他にも各地で天災が相次ぎ、原発事故やオウム事件など様々なことがあった。決して平成の名の通り、穏やかなことばかりではなかった、と思われる方も多いに違いない。▽国の象徴であられる現代にあっても、陛下は「国安けれ、民安けれ」と国家国民の安寧と繁栄を祈られ、その祭祀を大切に守り続けてこられた。その大御心のまにまに、残る一年余り、大きな波の立たない平穏な月日を重ねて、国全体が喜びとともに新しい代を迎えられるように。▽心清々しい新年となりますよう、衷心よりお祈り申し上げます。

年始特殊神事日程表

一月　十七日（水）午前六時　**梵天祭**
一月二十八日（日）午前十時　**どんと祭**

地元シリーズ㊺

つよく、たくましい三吉さんの梵天

責任役員　佐藤　勲（赤沼在住）

昔々、…といっても今から七十～六十年前の話になりますが、三吉神社の坂の下で原木丸太を積み込んだ馬車がつらなって一休みしておりました。

馬は太平方面からの荷運びでびっしょり汗をかいていて、これからの坂上りを前に小休止という風景でした。

いつも満員のバスも通っておりました。

赤沼の両側から家がせり出すような道路をバスが通っていて、よく曲がり角の家の庇を壊したり、途中でバスどうしの交差で車掌のピー、ピーという笛に誘導されながらずっとバックしたりということもありました。

私の子どものころは、あの道路で野球とかサッカーとかバドミントンもやっておりました。突然、誰かが〝巡査きた〟と叫ぶと一斉にそれこそ蜘蛛の子を散らすように逃げ去ったものでした。

たまに巡査につかまって「道路で遊ぶな」と怒られると、「んだって遊ぶ場所がねェもの」と口応えなどしたこともありました。

時代も移り、人も変わり、あたりの風景もすっかり変わってしまいました。

今や、あの道路で遊ぶ子どもたちの姿はなく、あの馬車もあのバスも遠く消えた風景になってしまいました。

しかし、三吉さんの梵天につどう〝わげェもの〟勢があの道路をじょやさ、じょやさとばかり「人に押し負け大きらい」と声を張り上げ、梵天に心身を委ね、〝一年の幸を願う〟心意気は少しも変わることなくいやさかの風景となってきました。

さぁ、梵天はいよいよ境内に入ってきました。さぁさぁ小競り合いが始まりました。梵天を守るも攻めるもそれぞれ入り乱れながら石段の下まできますと、一斉に隊列を正して、さてこれからいよいよひと勝負だとわくわく感と緊張感で肩肘張って、やがて押し合いひしあいの大乱れとなって、あとは誰も制御不能の成りゆき任せとなってしまいます。

まさに誰しも一心不乱の大騒ぎになってしまいますが、あたりかまわずのもみ合いのなか、われ先に梵天に寄り添っていたつもりが気が付いたら〝おらほの梵天どさえった〟ということもあって、なんとかわが梵天めざして押し合いへしあいの新しい渦を巻き起こそうとしてみますが、たちまち大きな渦にのみ込まれてしまうというのが〝人に押し負け大きらい〟のやりとりということになるでしょう。

手をあげ、肩を怒らし、渾身の力を振り絞るあの大渦のさなかで周りはどこのだれとも知れなくなってしまいますが、なんとか梵天を納めてふとあたりをみると三々五々仲間どうしが集まってきて、太平山に一礼して、さぁ、今年も元気はつらつで過ごして行こうという清涼感をわかちあうところです。

赤沼町内梵天

言挙げ⑥③

山と共に

職員　今野俊彦

皆さん、こんにちは今年も残すところあとわずかとなりました。皆さんは、どのようにお過ごしですか。

今年の山シーズンは、悪天候に泣かされた最初は二月の湿り気の多い大雪による旭又の橋の崩落から始まり五月中旬の視察及び前準備の為の登山時も雨の中、作業を行いヘリでの荷上げの時は、入山した日から予定日まで連日の雨模様の為三日間順延し、ようやく行われた。斎館の玄関に山の様にあった荷物約四トンをヘリ六往復し一時間半で山頂に上がってしまった。そんなこんなで山勤務が始まりを向えた。

春に雪が解け地面に浸透し水流が生まれ、私達の水道水になり、または農作物を成長させ山の中では、木々が芽吹き山菜のシーズンに入り、秋までの間にいろんな山の幸が採れる。私は以前にも少しだけ書いたことがありますが、数年前からゼンマイ採りを再開しタラの芽、さしぼ、シドケ、アイコ、タケノコと春の山の幸を秋にはさぼだし、なめこなどのキノコを採り山の恵みに感謝している。時期折々の山の幸を登りながら採り一週間の山勤務の中での食材として少し頂いて山頂での活力としている。

太平山のナメコ

しかし、いろんな幸を頂けるのはうれしいのだが、時にして命に係わることも数多い今年二月下旬には高校の五十代の先生が中岳からの下山時に滑落し四月下旬に発見された。シーズン中は週末に悪天候の日や低温の日が多かったりして登山者が少なく参籠所の宿泊予約キャンセルが多くなった。八月初旬には宿泊予定の方が登山途中に体調不良となり十九時頃下山が確認された。また八月下旬の集中豪雨の翌日に野田から入山された方は、沢沿いを登ってるときに危うく濁流に流されそうになったようで到着予定よりも三時間遅れの十八時半頃に到着した。その方の話によると野田の農道も抉られていたり、登り口の道も川と化していたそうです。九月に入り登ろう会、延期になっていた山ガール登山、閉山祭と予定行事も無事に終わり、いよいよ山閉めを向える事となったのだが雨模様の中、空の顔色を見ながら短時間勝負での作業となった。冬期間なにも起こらない事を願い山頂を後にした。

先月初旬に本閉めの為、再度登ったが下山時に駐車場を目の前にして転んで手を痛めてしまった。「幾度となく歩いている道なのに」と後悔し慣れと気の緩みの怖さを感じた今季最後の山となった。

最後になりますが、今年一年有難うございました。来る年もよろしくお願い申し上げます。

11月の本閉め作業

みよしスケッチ

秋季例大祭（十月十六日・十七日）

多数のご参列を頂き、厳粛に斎行いたしました。

閉山祭（九月十七日）

本年も多くの方の神人奉仕により、御神体を奥宮より里宮に遷御いたしました。

三吉節全国大会（九月十七日）

大川あけみ氏（秋田市）が優勝されました。

印章供養祭（十月一日）

古い印鑑や表札を、印章塚にお納めしました。

人形感謝祭（十月一日）

親しんだ人形に感謝し、お焚き上げ神事を行いました。

蒲原神社（十一月八日）

新潟より二十一名様が正式参拝に来られました。

食街道周遊プロモーション（十一月七日）

台湾から二十名様が参拝されました。

みよしスケッチ

七五三詣

元気なお子さんがお参りをされました。

園児お茶会（九月二十七日）

手形山幼稚園の園児をご招待いたしました。

歩こう会（十月二十二日）

如斯亭・金砂神社等を見てまわり、約八キロを歩きました。

村梵天代表者懇談会（十一月二日）

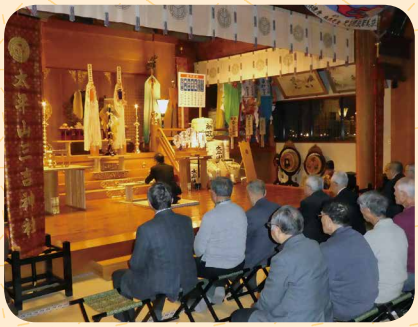
明年の村梵天奉納について話合いを行いました。

自衛警備隊総会（十一月九日）

梵天祭の作業について打合せをいたしました。

大麻・暦頒布始祭（十一月十五日）

新年の神宮大麻、暦の頒布始祭を斎行いたしました。



梵天打合せ会（十一月十七日）

新年の三吉梵天祭について打合せを行いました。

厄年・年祝いのご案内

厄年のお祓いや還暦・古稀などの年祝いを迎えられた方々の無病息災・除災招福のご祈願祭を随時行っております。（団体様やホテル等での出張祈願をご希望の方はお気軽にお問合せ下さい。）

平成 30 年（戊戌）　厄年・年祝い一覧

生まれた年	え　と	男　性	女　性	年齢(かぞえ)
大正　9　年生	申（さる）	白　寿（はくじゅ）		99歳
昭和　4　年生	巳（へび）	卒　寿（そつじゅ）		90歳
昭和　6　年生	未（ひつじ）	米　寿（べいじゅ）		88歳
昭和１４年生	卯（うさぎ）	傘　寿（さんじゅ）		80歳
昭和１７年生	午（うま）	喜　寿（きじゅ）		77歳
昭和２４年生	丑（うし）	古　稀（こ　き）		70歳
昭和３２年生	酉（とり）	後　厄		62歳
昭和３３年生	戌（いぬ）	還　暦（かんれき　大厄）		61歳
昭和３４年生	亥（いのしし）	前　厄		60歳
昭和５１年生	辰（たつ）	後　厄		43歳
昭和５２年生	巳（へび）	大　厄	厄	42歳
昭和５３年生	午（うま）	前　厄		41歳
昭和５６年生	酉（とり）		後　厄	38歳
昭和５７年生	戌（いぬ）	厄	大　厄	37歳
昭和５８年生	亥（いのしし）		前　厄	36歳
昭和６０年生	丑（うし）		後　厄	34歳
昭和６１年生	寅（とら）	厄	大　厄	33歳
昭和６２年生	卯（うさぎ）		前　厄	32歳
平成　5　年生	酉（とり）	後　厄		26歳
平成　6　年生	戌（いぬ）	大　厄	厄	25歳
平成　7　年生	亥（いのしし）	前　厄		24歳
平成１０年生	寅（とら）	成　人		満20歳
平成１１年生	卯（うさぎ）		後　厄	20歳
平成１２年生	辰（たつ）	厄	大　厄	19歳
平成１３年生	巳（へび）		前　厄	18歳
平成１８年生	戌（いぬ）	十三参り		13歳

※年齢は数え年ですので、誕生日にかかわらず新年を迎えると一つ年をとります。

どんと祭

1月28日（日）

午前10時～午後3時

お正月の松飾りや縁起物、或いは古い神札・お守りなどをお焚き上げいたします。当日ご都合のよろしくない方は、予め所定の位置にお納め下さい。

～書籍やぬいぐるみ・置物など神社にご縁のない物や不燃物はお預かりできません。
○人形類は 10 月の人形感謝祭にお持ち下さい。
○環境への配慮からビニール袋等は外してお納め下さい。

平成30年　上半期主な祭典・行事予定

1月1日(月)	午前零時	歳　旦　祭	国家の安泰と皆様のご安寧をお祈りいたします
1月17日(水)	神事 午前6時 奉納 午前10時半～正午	梵　天　祭	力の神である《三吉霊神》にあやかろうと威勢良く先陣を争い梵天を奉納する秋田の冬の伝統行事（8頁参照）
1月28日(日)	午前10時	どんと祭	古くなったお札、お守、縁起物をお焚上げいたします（6頁参照）
2月3日(土)	午前10時	節　分　祭	福豆をまき供え、除災招福を祈ります
2月11日(日)	午前9時	紀　元　祭	神武天皇建国の偉業を偲び、日本の繁栄と世界平和を祈念いたします
5月7日(月)	午後6時	春季例大祭宵宮祭	五穀豊穣や家内安全、各種産業の発展を祈る春の例大祭
5月8日(火)	午前11時	春季例大祭当日祭	
6月30日(土)	午後3時	夏越の大祓	上半期の最後の日に、自分の罪けがれを祓い清めます

師走の大祓式

この一年の間、知らず知らずの内に自分の身に積もった罪けがれを、形代（かたしろ）に託して祓い清め、心身ともに清々しく新年を迎えるための節目の神事でございます。

多事多忙とは存じますが、是非ご参列下さいますようご案内申し上げます。

記

一、日時　十二月三十一日（日）午後二時

一、於　神社拝殿

○ご都合のつかない方は、形代でご自身の身を祓い清め、随時ご持参又はご郵送下されば三十一日当日神事ご奉仕の上、御神符をお送りいたします。

○当日ご参列の方は、参列できないご家族の方の形代をご持参下さい。

※形代（かたしろ）は神社にございますので、必要な数をご連絡下さい。

秋田市赤沼
三吉
梵天祭
ぼんでん
平成30年
1月17日(水曜)
◎神　事：午前6時～
◎奉納時間：午前10時半～正午
人に押し負け大きらい
厳寒の一月、雪国の静寂を打ち破って
藤田嗣治『秋田の行事』にも描かれた
秋田の冬の風物詩「ぼんでん」が行われる。
力の神・勝負の神を祀る太平山三吉神社の
例祭に奉納される梵天は七十本余り。
意匠をこらした梵天は、数十人の男たちを従え、
雪の町を練った後、神社に集結する。
「人に押し負け大きらい」と三吉節も高らかに、
法螺貝と「ジョヤサ」の掛け声が
勇ましく轟くなか、万を越す観衆の前へ。
十余りの梵天が踊り乱れ、
男たちは波となって激しくもみ合う。
一年の幸を願う熱い祭は、今年も一足早い春を呼ぶ。
村梵天奉納町内のご紹介③
【広面町内会】
激しく力強く、争いの中へ!!
広面町内会は毎年、有志が思いを込めて梵天を手作りし、熱意に賛同頂いた地域の企業・団体の名を芯棒に巻いて、常に激しいぶつかり合いの中心へ飛び込んで行きます。地域のみなさんの願いを込めて奉納した後は、御礼回りをしてようやく新年を迎えます。
また、「こども梵天」の作製と奉納で子供達の健やかな成長を願うと共に、将来の担い手として育て、「けんか梵天」を末永く盛り上げていくのも、古くから参加している「三吉のこども」、私たち広面町内会なのです。
わたしゃ〝広面〟三吉のこども　人に押し負け大嫌い
村梵天奉納町内のご紹介②
【梵天向山有志】
私達、向山有志は将軍野・外旭川地区で成り立つ、5町内の有志による団体です。
町内会の皆様、町内店舗様のご協力により、毎年奉納させていただいております。
向山有志は赤い手ぬぐいがトレードマーク！
自称参加町内の中で、平均年齢が一番若いイケメン集団です（笑）
これからも、村梵天のトップ的な存在であり続けたいと思います。
企業梵天には無い村梵天の意地を見せます!!
ACCESS
太平山三吉神社総本宮
秋田県秋田市広面字赤沼3-2　☎018-834-3443　http://www.miyoshi.or.jp